

each other と one another の語法(7)

— *The Underland Chronicles* の場合 —

松島 龍太郎

0. Introduction

松島（2013a）から始まった2つの相互代名詞 each other と one another について、まず、語法書等により、2か3以上かという構成員 (Referent) の数による使い分けは当てはまらないということが確認され、次に、今まで扱った作品群ではさまざまな使い方が見えてきた。本稿では、Suzanne Collins の *The Underland Chronicles* を扱う。Collins は松島（2014b）でも扱った作家である。

構成員の数については、2者および3者以上の many で分類するが、その分類を超えるものもある。「グループ」や「三三五五 (in twos and threes)」, 「連続」, 所有格についても確認する。本稿では、さらに、「代表」と「それぞれ」という概念を導入する。

例文については、each other と one another およびその所有格には下線を引き、その referent および員数は太字とし、その他の関連した部分には波下線を引く。

引用の例文は、構成員 (referent) ができるだけ分かるように、関係した文の前後から示すこともある。また、文の後の [brackets] に構成員を入れた。Speech 部分は“S”とした。末尾の(丸かっこ)の数字は掲載ページである。

(この物語について)

この物語の設定であるが、New York の地下深く広大な地下世界が広がっている。主人公の Gregor とその家族がこの世界に落ちる。この世界には Sandwich なる人物が作った都市 Regalia があり Underlander（地下世界の人類）が住んでいる。他の主な生物は、こうもり (bats), ねずみ (rats), ごきぶり (cockroaches), などがい

るが皆大型で知性を持ち、言語（英語）を操ることができる¹。Batは特に人間と親しく、人間を乗せて飛ぶことができる。RatはUnderlanderと対峙していて、しっぽを除いて2メートルほどもある。Roachの英語は片言と言う感じだが彼ら独自の言語を有している。大きさは1.2メートルほどで、子供くらいなら乗せることができる。

1. Gregor 01²

この第1巻では、each otherが10例、所有格each other'sが1例で、計11例現れ、one anotherは5例、所有格one another'sが1例で、計6例現れる。両方の相互代名詞が使われていると言える。

1.1 Each other: 構成員2の場合

構成員が確実に2のものは6例である。主人公のGregorが、妹のBoots³とともに地底の世界に降り立ち、最初に出会う「人間」の少女の名前はLuxa⁴といい、このGregorとLuxaの二人が構成員のものが2例ある。例(1)は、初対面時で、お互いに相手のことについてはまだ何も分からないが、Gregorから見ると相手のLuxaは生意気女である：

(1) Gregor didn't know how long they might have stood there sizing each other up if Boots hadn't intervened. [Gregor & Luxa] (28)

例(2)は、Gregorが妹とともにいったんUnderlandから逃げ出そうとするが、

¹ 本稿では、これらの知的生命体を大文字で始まる単数形の英語名で表記する。こうもりはBat、大型のねずみはRat、小型のねずみはMouse、ごきぶりはRoach、蜘蛛はSpiderである。人類はHumanであり、Gregor一家はOverlander、地底人はUnderlanderであるが、通常、区別を必要としない場合、両者とも「人間」とする。

また、この知的生命体は名前を持っているので、本稿ではその数に言及するとき人間同様「名」を用いる。

² *Gregor the Overlander* (2003, 2013).

³ Bootsはあだ名。本名はMargaretで、物語開始時2歳。

⁴ /'lu:ksə/

人間にとって仇敵のRatに襲われたところをLuxaたちに助けてもらい、事情説明の場面で、二人は反目、反発しあっている：

(2) This time, they both took seats as far from each other as possible. [Gregor & Luxa] (97)

例(3)は、Luxaと彼女のいとこのHenryの二人である。VikusはLuxaの祖父で、Luxaが16歳になって女王になるまで、後見役として君主教育を施しているが、Luxaの方は「おてんば」ぶりを発揮している：

(3) He [Vikus] glanced at Henry and Luxa, who were flipping wildly in the sky trying to knock each other off their bats. [Henry & Luxa] (131)

Gregorと父親の二人のものが2例ある。父親は、2年前に地下世界に来ていて、Ratたちに捕らえられ、救出された時は、精神、肉体ともかなり衰弱していた。例(4)、(5)は、父親救出後、Regaliaの宮殿において、Bootsとともにいる場面である。Bootsを入れれば3人であるが、Bootsは食欲がなくなることはなさそうな兎なので入れずに、2人とする：

(4) **They** spent the afternoon playing with Boots, trying to make each other eat and often, without any particular reason, reaching out to touch each other. [Gregor & his father] (297)

(5) **They** spent the afternoon playing with Boots, trying to make each other eat and often, without any particular reason, reaching out to touch each other. [Gregor & his father] (297)⁵

人間2名が構成員のものはもう1例あり、Gregorが宮殿に連れて行かれ、Bootsの世話役に任命されたDulcetと一緒に紹介された男女二人で、MarethとPerditaといい、実は彼を見張る兵士たちである。Marethはその後、Gregorの親友となる：

(6) Behind him, **the two guards** murmured something to each other. [Mareth & Perdita] (55)

⁵ 一文中に複数の例が現れる場合は、それぞれで独立した例文として扱う。以下同。

1.2 Each other: 「代表」 の場合

この世界では、人間と Bat との関係、すなわち「きずな」“bond” が重要な概念である。これが提示されるのは、Luxa の祖父の Vikus が次のようにこうもりの Aurora と Euripedes を Gregor に紹介する時である。二組同時の紹介であるが、それぞれ Vikus と Euripedes, Luxa と Aurora が「きずな」を結んでいることが分かる：“Gregor the Overlander, meet you Aurora and Euripedes. They are bonded to Luxa and myself,” said Vikus, extending a flexed hand to the gray bat on his right. Euripedes brushed the hand with his wing. Luxa and her golden bat Aurora performed the same exchange.⁶

例 (1) は、上の引用の “They are bonded to Luxa and myself.” という Vikus の説明を受けて、Gregor が質問するものである。つまり、構成員2のグループ2つが対になっているというよりも、特定の構成員の一对一の「きずな」の関係が問題になっていて、そしてここでは、それが二組ある⁷：

(1) “Nice to meet you,” said Gregor politely. “What does that mean, that you’re bonded to each other?” [Aurora & Luxa; Euripedes & Vikus] S (66)

例 (2) は、(1) の Gregor に Vikus の妻の Solovet が簡単に歴史的な説明で答えた後、Gregor のさらなる質問，“And what do you do if you’re bonded to a bat?” (66) に対する答えである。一般人称の you を使って普遍性を言うようだが、Gregor の質問に直接答えるならば、1対1の関係になる。やはり、2つのグループが対になっているわけではなく、それぞれのグループからの特定の構成員（ある特定の人間とある特定の Bat）の組み合わせである：

(2) “**You** keep each other alive,” said Luxa coldly. [A human & a bat] S (67)

例 (3) は、いわゆる「総称」で一般的な話の仕方であるが、やはり、つまりところはこのような「代表」である：

⁶ Page 66.

⁷ Many で2グループであるが、片方のグループの特定の構成員がもう一方のグループの特定の構成員と1対1で対応している。本稿では、これを「代表」と呼ぶ。

- (3) “When a bat and a human bond, **they** swear to fight to the death for each other,” said Luxa. “Aurora would never leave me in danger, nor I her.” [A bat & a human] S (230)

例(4)は、LuxaのいとこであるHenryが³、こともあろうに、仲間を裏切ってRatと結託をしていたことが判明したところで、彼が語るその理由である。彼は、Ratと人間（人間の中心はHenry自身で、Ratの王のGorgerは彼に王位を約束した）が手を組んでこの世界を支配しようともくろんでいる。人間とRatで、manyで、多数の集合体の2つのグループであるが、中心者HenryとGorgerという「代表」も考えられる：

- (4) “The rats, at least, are not guilty of that. Together, **we** will protect each other. Together, we will rule. Together, we will be safe. It has been decided.” [The rats & the humans] S (261)

1.3 Each other's

所有格の構成員はmanyであるが、人間とSpiderで、2つのグループである。SpinnersとはSpiderの別名で：

- (1) “We are on peaceful terms with the spinners. We trade with them, **we** do not invade each other's lands . . . but it would be an exaggeration to call them our friends.” [The spinners & the humans] (180)⁸

1.4 One another : 「それぞれ」

この第1巻のone anotherの構成員はすべてmanyと言える。ただし、次の例は、1対3の2グループである。VikusがGregorに紹介した3人のUnderlanderのグループとGregorである。3人のうち一人はDulcetといい、15歳くらいで、彼女がBootsの世話係となる。他の2名は、1.1 (6) のMarethとPerditaである：

- (1) **Gregor and the Underlanders** stared awkwardly at one another. [Gregor & the three Underlanders] (51)

⁸ ピリオド3個は原文。(以下同.)

次の (2) は、物語の初期に、Gregor はこんな世界はいやだと妹と逃げ出したのだが、2名の Rat に見つかり、襲われているところを助けに来た Henry, Mareth, Perdita とその Bat たちである。人間だけなら構成員は3, Bat を入れると構成員は6で3グループである。Gregor の観点から、人間を中心に見ている：

(2) Gregor saw Henry, Mareth, and Perdita zigzagging their bats above the rats' heads.

Besides avoiding one another in limited space, **they** had to dodge the wicked claws of the rats. [Henry, Mareth, Perdita on their bats] (86)

次の (3) の構成員は5である。Gregor の父親を救う旅に加わった Underlander は Mareth, Henry, Luxa, Vikus, Solovet の5名で、したがって、この場にいる Bat は5名であるが、Bat 一般に言及しているとも言える。これは三三五五というよりは、それぞれの Bat が他のそれぞれの Bat と関係している⁹：

(3) The bats hardly ever spoke out loud, though. It seemed to require a lot of effort. **They**

probably talked to one another in squeaks too high for human ears to hear. [The bats] (165)

次の (4) は、地上での光景で、妹の Boots が動物園でこうもりを見ているところを Gregor が思い出している。それぞれのこうもりが他のそれぞれに対してなので、やはり「それぞれ」である。こうもりが暗闇でもぶつからずに飛ぶことができるのは“echolocation”のおかげであるが、これは後に Gregor にとって重要になる技能で、ここはその伏線である：

(4) In the small, dark display, **hundreds of bats** managed to flit around continuously without knocking into one another. [Hundreds of bats] (38)

次の (5) は、Rat の King である Gorger が倒れ、Rat たちが内戦状態になっていることを述べている。構成員は、Rat 一般で、多数であり、多くのグループに分かれて「それぞれ」のグループが対峙している：

(5) “I believe the war will soon be at an end,” said Vikus. “**The rats** have begun to battle one another for their throne.” [The rats] S (298)

⁹ 構成員のそれぞれが他の構成員のそれぞれに対してこの関係を、本稿では「それぞれ」と呼ぶ。

1.5 One another's

次の (1) は、1.3 (3) の後、旅の協力者を求めて Spider のもとへ飛び立つ場面で、この旅の参加者全員である。やはり、「それぞれ」が認められる。ただし、Boots, Temp, Tick¹⁰を Solovet は戦力としてみなしていないけれども：

- (1) “Fly close together. We may have need of one another's protection,” said Solovet.
“To the air!” [Mareth, Henry, Luxa, Vikus, Solovet, their five Bats, with Gregor and Boots including Temp and Tick] S (165)

1.6 まとめ

Each other については、構成員が確実に2のものが6例で、同時に人間同士である。人間と Bat のきずなどで3例あり、それぞれ2グループと考えられるが、構成員の1対1の関係をいう「代表」である。最後の例は、manyで2グループであるが、背後に特定の2者がいて「代表」でもある。所有格の each other's は、manyで2グループである。

One another については、すべて many であるが、グループに分かれるものと、そうでないものがある。例 (1) は2グループ、(2) は3グループである。(5) は多数のグループの「それぞれ」、(3)、(4) と所有格は「それぞれ」である。

出現率（何ページの割合で1例が現れるかで、数字が小さいほど頻度が増す）は、本文311ページで、each otherが28.27 (311/11)、one anotherが51.83 (311/6)で、両方あわせると18.29 (311/17) である。

2. Gregor 02¹¹

この第2巻では、each otherが14例、所有格の each other's が1例で、計15例あり、one anotherは4例と少なく、所有格もない。

¹⁰ Temp と Tick は Roach で、Roach たちは Boots を princess として崇めている。

¹¹ *Gregor and the Prophecy of Bane* (2004).

2.1 Each other

構成員2のものほとんどである。Underworldでは人間とBatのきずなが重要視されるが、5例ある。例(1)は、そのきずなについて述べたもので、一般論で多数ではあるが、究極は1対1の関係で「代表」である：

(1) In the Underland, **a human and a bat** could take a vow and swear always to protect each other no matter how desperate the situation. [A human & a bat] (21)

例(2)は、Henryときずなで結ばれていたBatのAresが、Henry亡き後、Gregorときずなを結んだことを述べている：

(2) Ares had saved his life. Gregor had kept Ares from banishment, which would have meant certain death. **They** were bonded together and had sworn to fight to the death for each other. [Gregor & Ares] (32)

GregorとAresは、(2)を含めて計3例ある。GregorがUnderworldに戻ってきたのは、妹のBootsがRoachたちにさらわれたからである。再会したGregorとAresであるが、先の冒険できずなを結んだとはいえ、まだ相手をよく知らない間柄であり、特にGregorはきずなについてよく分かっていない。さらに、BootsがさらわれたことであせっているGregorは、Aresと喧嘩をしてしまう：

(3) Neither Ares nor Gregor responded. Since **they** weren't actually speaking to each other, it seemed stupid to act like they had some special mental link. [Gregor & Ares] (37)

次の(4)では、GregorとAresとの関係は深まり、きずなは強く、安定したものとなっている：

(4) He didn't bother to thank Ares. Somehow **they** were past thanking each other. [Gregor & Ares] (210)

次の(5)は、Aresと元きずなのHenryであり、それぞれの立場からきずなになった理由をAresが述べている：

(5) "Henry chose me because I was wild and known to disobey many of the rules of my land. I chose Henry because I was flattered and he was royal and under his protection I knew I could be absolved of many things," said Ares. "It was not all bad. We flew

well together and shared many of the same tastes. In most ways, **we** were suited to each other. [Ares & Henry] S (74)

例 (6) は、Vikus と Luxa の関係を述べている：

- (6) Vikus was her grandfather but, since her parents had been killed by rats, he was also the closest thing she had to a father. And he was supervising and training Luxa to take on the full responsibilities of being the queen of Regalia when she reached sixteen. Gregor thought it must be complicated for **them**, being so many things to each other. [Luxa & Vikus] (52)

例 (7) は、もう一つの人間の町 the Fount から Howard 家の人々が Regalia を訪れた時に利用する一画が宮殿にあり、かなり広い区画でいくつかの部屋からなっている。今回の冒険がとりあえず終わり、安全のために Howard と Gregor はここで休むことに決める。二者の並列、連続である：

- (7) **Howard and Gregor** took beds next to each other. Ares and Andromeda huddled together in the space between them. [Howard & Gregor] (288)

例 (8) は、the Waterway という地下の海を船で渡っていくが、途中大渦に巻き込まれそうになり、対処しようとするが、Howard と Mareth の意見は食い違う：

- (8) **Howard and Mareth** were shouting at each other across the rope that tethered the two boats together. [Howard & Mareth] (146)

例 (9) は、大渦に巻き込まれた Twitchtip を Gregor が助けようとしているところである。Twitchtip は Rat であるが、the Bane¹² を探す案内役である。Underlander たちは Sandwich の残した予言により、Gregor がこの the Bane を倒すことを期待している：

- (9) **They** smacked into each other, chest to chest. [Gregor & Twitchtip] (152)

例 (10) は、地下世界は真っ暗なので、照明係りとして雇った Firefly が逃げた後、Rat の Twitchtip が冗談を言って、皆に大うけした時である。Luxa は両親を Rat に殺され、Rat 一般を憎んでいる。また、一般に Underlander と Rat は憎しみあっている。

¹² この Rat は、名前の通り、Underlander たちに破滅をもたらすと言われている。

このボートの中では、徐々にその憎しみが薄れかかってきている：

(10) **She and Twitchtip eyed each other.** [Luxa & Twitchtip] (184)

例 (11) は、Boots と the Bane である。The Prophecy of Bane には、“*JUST A BARELY SPEAKING PUP*”, “*DIE THE BABY*”¹³ とあり、“pup” は Rat のいう baby のことで、Boots は登場時から片言しかしゃべることのできない赤ん坊として描かれているので、Gregor たちは予言の赤ん坊を Boots だと思い込み、そのため勘違いが起こった。取り違いである¹⁴：

(11) Boots . . . the Bane . . . right now they were so alike that the entire Underland could misinterpret the prophecy and mistake **them** for each other. [Boots & the Bane] (303)

例 (12) は、Rat の Goldshard と Snare である。Snare は the Bane の父親で、Goldshard は the Bane の母親であり、予言によると the Bane が Underland を支配することになるということである。Snare は予言どおりにことが運ぶことをもくろんでおり、Goldshard は Snare から the Bane を守ろうとしている：

(12) The combat was vicious. **The rats** attacked each other in violent bursts. [Goldshard & Snare] (223)

以上が、構成員が単純に2のものである。

例 (13) は、Mareth が Firefly 一般について述べている。今回雇われた Firefly は Zap と Photos Glow-Glow という名のペアで、このように必ずペアで行動する。一般では構成員は many であるが、ペアになるので「代表」と言える：

(13) “They are not very capable fighters, and they tire quickly. So **they** ended up accusing each other of cheating, and giving up. Then they sulked for several days,” said Mareth. [The fireflies] S (120)

例 (14) は、Gregor 兄妹が逆さに互いの目を見ている。2つのペアとするか4とするかである。また、これのみ身体の一部である：

¹³ Page 40.

¹⁴ Sandwich の残した予言は、予言の例に漏れず曖昧 ambiguous, vague であり、Underlander はこの予言に振り回されているように見える。

- (14) She squatted down and pressed her nose into his forehead so **their eyes** were blinking at each other upside down. [Gregor's eyes & Boots' eyes] (138)

2.2 Each other's

例文 (1) は、Firefly の Zap と Photos Glow-Glow のペアである。喧嘩ばかりしているように見えるが、ペアを解消することはない。Firefly の生き方なのであろう：

- (1) Mareth tried to feed them to distract them, but **they** just bickered about each other's table manners. [Zap & Photos Glow-Glow] (119)

2.3 One another

相互代名詞 one another は、4 例とも many で「それぞれ」である。例 (1) は、mouse 等の小動物である。Boots がさらわれたと思い、Central Park の入り口から Underworld への途上で Gregor が遭遇する：

- (1) A mouse. There were dozens running past him. And there by the wall — hadn't he just seen some kind of molelike animal go by? The whole floor was alive with creatures headed in Gregor's direction in a big, creepy stampede. **They** weren't trying to eat one another. [Mice, other little animals] (25)

次の (2) は、出発時は 2 隻あった船が、大渦で 1 隻になり、それに全員が乗っている。狭い船の中で、三三五五とも「それぞれ」とも取れる：

- (2) Besides that, **everyone on board** was driving one another crazy. [Gregor, Boots, Luxa, Howard, Mareth, Temp, Twitchtip, Ares, Aurora, Andromeda, Pandora, Photos Glow-Glow, Zap] (165)

次の (3) は、Rat (Gnawer)¹⁵ たち一般で、Boots が死んだと思って盛り上がっている。三三五五とも取れるが、非常に数が多いので「それぞれ」とする：

- (3) They were off celebrating somewhere, the gnawers. Gnashing their ratty teeth and

¹⁵ Underland の生物にはそれぞれあだ名があり、Rat は Gnawer、Bat は Flier、Roach は Crawler、Spider は Spinner、Mouse は Nibbler、Firefly は Shiner である。そして、人間が何と呼ばれるかは Gregor 04 で明かされる。

laughing and congratulating one another on how well their plan had worked. [The gnawers] (201)

次の (4) は、Howardはこの地のroyal familyの一員であるため、ここに広い居所を有する。そこならば安全と考えた。Gregorが、Underlanderの信ずる予言に逆らってthe Baneを倒さなかったため、反逆罪で裁判を受けていたが、Narissa (Luxaがこの時点で行方不明であるため戴冠してQueenとなった) が無罪としたため、放免されるが、Queenを信じない輩も多くいると思われるため、安全を確保したい¹⁶：

(4) “I have a large chamber that would accommodate us. It is reserved for my family at all times,” said Howard. “At least we know **we** are safe with one another.” [Andromeda, Ares, Howard, Gregor] S (287)

2.4 まとめ

Each otherについては、構成員2のものがほとんどである。人間とBatが5例、人間と人間が3例、人間とRatが3例、RatとRatが1例、Fireflyは「代表」で1例、所有格でも構成員2でFireflyが1例ある。最後の1例は、many (4) となるか2グループとなるかあいまいである。これのみ身体の一部である。また、うち1例が並列の連続である。

One anotherについては、所有格がなく、4例と出現数も少ない。構成員はすべてmanyで、グループ対グループはなく、三三五五ないし「それぞれ」である。

出現率は、本文309ページで、each otherが^s20.60 (309/15)、one anotherが^s77.25 (309/4)で、両方あわせると16.26 (309/19) である。

3. Gregor 03¹⁷

この第3巻では、each otherが17例、one anotherは7例あり、両者とも所有格は出現しない。each otherでは、構成員が2のものが9例、manyのものが8例あるので、

¹⁶ 例2.1 (7) 参照。

¹⁷ *The Curse of the Warmbloods* (2005).

2とmanyに分けて扱う。

3.1 Each other: 構成員2の場合

人間とbatのものが2例あり、(1)は、この巻の開始時に、AresとGregorの間のbondについて、あるいは、この世界のbatと人間との間のbondについて記憶を新たにする：

(1) **Ares and Gregor** were bonds, sworn to protect each other to the death. [Ares & Gregor] (10)

次の(2)は、HowardとAndromedaはthe Curse of the Warmbloods¹⁸という疫病に感染しており、同じ病室に隔離されていて、Gregorはガラス越しに覗くことができる：

(2) **Howard and Andromeda** were sitting across from each other on the floor with a chessboard between them. [Howard & Andromeda] (78)

LuxaとHamnetが構成員のものが3例あるが、Hamnetは、VikusとSolovetの子供で、Luxaのおじに当たる。彼は、事情があってRegaliaを去っていたのだが、今回の旅の案内人として息子のHazardとともに参加している。次の(3)は、Gregorたちが砂地獄に捕らわれた時、第2巻から行方不明であったLuxaが現れる。HamnetとLuxaはおじと姪の関係でよく似ている。Gregorは、命の危険の際にそのことに注目している：

(3) Hamnet skidded to a stop before he reached the quicksand, but his attention was on Luxa. She looked back at him in shock. As **they** faced each other in profile, Gregor could see the resemblance was uncanny. [Hamnet & Luxa] (230)

次の(4)では、長い間会わなかったLuxaとHamnetの関係はギクシャクしたものである：

(4) **Luxa and Hamnet** avoided speaking much to each other. [Luxa & Hamnet] (287)

次の(5)では、Gregorがそんな二人をどうにかしようと話しかけるが、すぐに

¹⁸「温血の呪い」は、温血動物だけが感染する死に至る病で、この巻は、この疫病の治癒をめざす冒険となる。

はうまくいかない :

- (5) **Luxa and Hamnet** glanced at each other warily but said nothing. [Luxa & Hamnet]
(287)

次の (6) は, Gregor とその母親であり, 彼女は这个世界に来て, この疫病にかかってしまった :

- (6) She stopped when she saw Gregor. **They** just stared at each other, as if no one else existed. [Gregor & his mom] (335)

例 (7) は, Luxa と妹の Boots で, 前巻での Luxa の失踪に言及している :

- (7) Gregor realized that the last time **the queen and his little sister** had seen each other had been in the rats' maze. [Luxa and Boots] (237)

次の (8) は, 急に出現した Lizard と Boots が向き合っている。Boots は「恐れを知らない」子供である。この Lizard は, 実は, Hamnet の連れで, 名を Frill といい, 大きさは, その頭が Gregor の “fifteen feet above” (144) のところにある。大きな生物は, 言葉を発する知的生命体である :

- (8) For a moment, **the towering lizard and the tiny girl** were mirror images of each other. [The towering lizard (Frill) & Boots] (145)

例 (9) は, Bat の Nike と Aurora である :

- (9) **The two injured bats** greeted each other warmly and snuggled together to sleep. [Nike & Aurora] (258)

3.2 Each other: 構成員が many の場合

構成員が many の場合は, 構成員が2つのグループに分かれるものが8例中7例である。例 (1) は, 普通のねずみ (rat) が Gregor 一家にプレッシャーをかけている場面で, 母親の “Rats? I thought they couldn't get up here!” (48) という叫びに Gregor が答えている :

- (1) “The Underland ones can't. But I guess the regular ones can. And **they** know each other,” said Gregor. [The Underland rats & the regular rats] S (48)

次の (2) は, 3.1 (2) に続く場面で, 構成員は3で, 片や Gregor, 片や Howard と

Andromedaの2グループとなる。Andromedaはこの場面で、Howardとともにガラスに近づいている。GregorのbondであるAresは疫病にかかって重体だが、こちらは動ける：

(2) **They** couldn't hear each other through the thick glass, but Gregor was sure Howard said, "Gregor! You are here!" [Gregor & Howard and Andromeda] (79)

例(3)は、Gregorが母親に、地下の勢力関係を説明しており、UnderlanderとRatの関係を端的に表している：

(3) "The main thing is that **most of the humans and rats** hate each other. The bats are tight with the humans." [Most of the humans & rats] S (85)

次の(4)は、RatのRipredが語る、人間とRatとの間の関係の歴史である：

(4) "Now where to begin? . . . You see, the thing is . . . the thing you have to understand is that **the humans and the rats** were not always so consumed with hatred for each other." [The humans & the rats] S (270)

次の(5)は、Gregorの考えで、人間とRatとの間の関係である：

(5) But then . . . if **the humans and rats** taught their babies from birth to fear each other . . . how was anything ever going to get better? [The humans & rats] (279)

例(6)は、Gregorの一言が、彼対2名のRatのMangeとLapbloodとの間で一触即発の危機を迎えた時、両者をHamnetがたしなめている。したがって、Gregor対Mange and Lapbloodのグループである。

(6) "That is better. Remember where you are, all of you. And that **you** need each other, Warmbloods." [Gregor & the two rats, Mange and Lapblood] S (177)

例(7)は、Gregorたちと案内役になるはずのHamnetたちがうまくコミュニケーションがとれずに、決裂するところである：

(7) "Then it's settled. **We** have no use for each other," said Hamnet. [Gregor's group & Hamnet's group] S (155)

例(8)は、Gregorたちで構成員2のグループが複数でき、グループ内での「それぞれ」である。場面は、Antたち(大きさはfive feet long, two feet tallで、非常に多数の群れで襲ってくる)から疫病の特効薬の素となるstarshadeという植物を

守ろうとして、Ripredが陣形を組む指示を出すところである。Ripredを先頭に左翼にHamnet, Frillの順、右翼にGregor, Lapbloodの順の隊形を組み、基本的には隣り同士ということになる。Gregorの場合ならば、Ripred & GregorおよびGregor & Lapbloodということになる。最初は、底辺のFrillとLapbloodの組み合わせは考えなくて良いから、最大で4グループが考えられる。しかし、乱戦になればそのような順序などは関係なくなるだろう：

- (8) “Hold your positions as long as you can before you fall back. When we reach the stack, circle around. Don’t save each other, save the plants!” [Ripred, Hamnet, Frill, Gregor, Lapblood] S (296)

3.3 One another

One anotherの7例はすべてmanyである。そのうち、2グループが2例ある。例(1)は、人間とRat一般のグループである：

- (1) Other stanzas seemed to suggest that the humans and the gnawers — the rats — were going to have to band together to find the cure for the disease. Boy, they were going to love that! **They**’d only spent centuries trying to kill one another. [The humans & the gnawers] (25)

もう1例は、人間対Ratの現在のいがみ合いの元となった戦いをHamnetがGregor達に語る場面である：

- (2) “When it was over, **the humans and gnawers** hated one another more than ever.” [The humans and gnawers] S (289)

残りの5例は、manyである。次の(3)は、Gregorの父親、母親、妹のLizzieとBootsであり、Gregor、母親、Bootsの3人が地下世界へ行くところで、家族で「それぞれ」別れを惜しんでいる。Gregorを入れれば5名全員が関与している：

- (3) **Gregor’s family** looked at one another, then wordlessly exchanged hugs. [Gregor’s family] (60)

次の(4)は、RoachたちがBootsの母親に紹介された場面で、BootsはRoachにとってprincessであり、Gregorの母親はprincessの母親となる。Roachは6名ほどで、

やはり全員が関与している「それぞれ」である：

(4) The roaches seemed rattled by the news. Gregor could hear **them** whispering to one another. [The roaches] (87)

次の(5)は、LizardのFrillが気を利かせて、Boots, Temp, Hazardの3名を自分に乗せることにし、Frill自身を入れて4名全員が関与する「それぞれ」である：

(5) Frill offered to carry Boots and Temp along with Hazard, and Gregor agreed, figuring **they** could entertain one another. [Frill, Boots, Temp, Hazard] (193)

次の(6)は、疫病の媒介のしらみを駆除するためにGregor、母親、Boots、Queen Athena (Batの女王) たちに研究員のNeveeveが命じるもので、全員が「それぞれ」の行動となる：

(6) “Put as much distance as **you** can between one another.” [Gregor, his mom, Boots, Queen Athena] S (98)

次の(7)は、たくさんのthick, ropy vinesが絡み合っている。これのみ植物であるが、この森の植物は他の生物を襲うものもある。また、一見葛に見えても蛇の可能性もある。蛇の場合、言葉を操るかどうかが不明である：

(7) **Thick, ropy vines** that wove in and out of one another and towered high above his head. [Thick, ropy vines] (141)

3.4 まとめ

Each otherの構成員2の場合は、9例中、人間とBatが2例、人間と人間が5例、Lizardと人間が1例、Bat同士が1例である。

Each otherの構成員manyの場合は、8例中、7例が2グループである。残り1例は、複数のグループ内での「それぞれ」である。

One anotherは、すべてmanyであるが、2グループが2例ある。残りのうち4例は、グループ対グループではなく、「それぞれ」である。最後の1例は、三三五五の組み合わせで、これのみ、知的生命体ではない可能性がある。

出現率は、本文356ページで、each otherが20.94 (356/17)、one anotherが50.86 (356/7)で、両方あわせると14.83 (356/24)である。

4. Gregor 04¹⁹

この第4巻では、each otherが15例、所有格のeach other'sが2例で、計17例あり、one anotherが3例、所有格のone another'sが1例で、計4例ある。

4.1 Each other: 構成員2の場合

構成員が2のものは、15例中13例である。この世界の人間とBatとは強いきずなを結ぶが、それが3例あり、(1)は、GregorとAres、(2)は、HazardとThalia、(3)は、HowardとNikeである：

- (1) Gregor always felt a sense of security with Ares. **They** were bonds, a human-bat team who had taken an oath to defend each other to the death. [Gregor & Ares] (43)
- (2) No one understood what he was doing until he got Hazard and Thalia to stop running around for a minute and snapped a great shot of **the two of them** with their arms and wings wrapped around each other. [Hazard & Thalia] (65)
- (3) They would make good bonds, Howard and Nike. They both were honorable, brave, and good-natured. Already **they** trusted each other with their secrets. [Howard & Nike]

GregorとLuxaが5例あり、二人にある感情が芽生えているが、二人ともそれによく対処できないでいる：

- (4) When they did, **Gregor and Luxa** exchanged a glare and then ignored each other for the rest of the trip to the jungle. [Gregor & Luxa] (92)

例(5)は、他者に誇示したい気持ちもある：

- (5) At the time, he guessed he had expected Howard to at least entertain the possibility that **he and Luxa** might like each other. [Gregor & Luxa] (125)

例(6)では、Gregorが、つい、Luxaにきつく当たってしまう：

- (6) “And when we get back to Regalia, I’ll be sent home and we can forget **we ever knew each other!** Okay?” [Gregor & Luxa] S (262)

¹⁹ *Gregor and the Marks of Secret* (2006).

例 (7) は、Gregor が (6) の自らの言葉を反芻し、反省しているところである：

(7) “We can forget **we** ever knew each other! . . .” [Gregor & Luxa] S (264)

例 (8) は、Gregor が Luxa に言ってしまった言葉、“Anything that I’ve been doing to help you, that’s just a favor! Not something I owe you.” (262) に対する Gregor 自身の反省である：

(8) To forget what **they** owed each other. [Gregor & Luxa] (264)

次の (9) は、Gregor と Luxa の「生き方」である。これを入れると Gregor と Luxa で 6 例となる：

(9) For better or worse, **their lives** had wrapped in and around each other since the moment they’d met. [Gregor & Luxa’s lives] (264)

生命体そのものではなく、それに付随するものがもう 1 例ある。次の (10) は、Gregor 02 で照明係として雇われていた Firefly の Zap と Photos Glow-Glow の身体の一部、頭である：

(10) **Their heads** smacked into each other with an unpleasant cracking sound, and they both plopped back on the ground, groaning and spitting insults at each other. [Zap & Photos Glow-Glow’s heads] (176)

Zap と Photos Glow-Glow は、ほかに 2 例ある。いさかいはしても離れられない「仲の良い」ペアである：

(11) Their heads smacked into each other with an unpleasant cracking sound, and **they** both plopped back on the ground, groaning and spitting insults at each other. [Zap & Photos Glow-Glow] (176)

(12) Then **they** just glowered at each other. [Zap & Photos Glow-Glow] (176)

次の (13) は、Ripred が Gregor 02 の出来事を思い出している。Gregor は赤ん坊であった the Bane を倒さず、Ripred が the Bane を育てることになった²⁰：

(13) “The Bane remembers it, too. And that Snare beat him. And that **his parents** killed each other,” said Ripred. [Snare & Goldshard] S (29)

²⁰ 2.1 (12) 参照.

4.2 Each other: 構成員 many の場合

Each other で構成員が many のものは 2 例あり, 両方とも 2 グループである. 例 (1) の twister は 蔦のように見える Snake であり, nibbler は Mouse である:

- (1) “You mean the twisters?” said Hazard. “**They** avoided each other. The twisters eat the nibbler pups, and the nibblers eat the twister eggs,” he said. [The twisters & the nibblers] S (135)

次の (2) は, Gregor 03 で starshade をめぐって戦った Gregor たちと Ant の大群で, 2 つのグループを形成する²¹:

- (2) When they had fought the ants in the jungle, the ground had been covered in corpses. But that had been a battle, with **two armed forces** facing each other. [Two armed forces] (296)

4.3 Each other's

二例とも構成員は 2 である. 例 (1) は, Howard が, Luxa と Ripred の言い争いを止めようとして:

- (1) “Stop!” Howard sprang to his feet. “You upset the children. You upset us all. **You** gain nothing by being at each other's throats.” [Luxa & Ripred] S (253).

例 (2) は, その Luxa と Ripred の言い争いが実際にもたらした光景である:

- (2) **Hazard and Boots** stood by Temp, holding each other's hands tightly, worried looks on their faces. [Hazard & Boots] (253)

4.4 One another

One another はすべて many である. 次の (1) は, Gregor をたずねてきた 3 名の Rat である. この場合, 3 名「それぞれ」である:

- (1) **The rats** happily began to swap stories of Ripred's abuse, one-upping one another. [Twirltongue, Reekwell, Gushgore] (53)

²¹ 3.2 (8) を参照.

例 (2) は、宮殿にいる漠然と多数の人々の声である。人間そのものではない。三三五五に分類できる：

(2) **Frightened voices** called to one another in the hall. [People's voices] (342)

次の (3) は、Regalia の踊りで、歌いながら踊る。この踊りで the queen 役となった Luxa は、輪を作って回る子供たちと逆方向へ回る。最初のスタンザの終わりに、10人ほどの子供が内側の Luxa に加わり、Mouse のまねをする。ここは最後の3番のスタンザで皆は、ケーキを出し、お茶を入れるしぐさをする。おそらく、内側と外側とでペアをつくり、この動作をするのではないか。ペアが10ほどできていると考えられる。またペアは入れ替わる可能性がある。つまりペアというグループがいくつも出来ていて、そのペア・グループ内の「それぞれ」である：

(3) For the final verse, as near as Gregor could figure, **everyone** went around pretending to serve cake and pour tea for one another. [Every child who is dancing and singing] (69)

4.5 One another's

やはり、many で、例 (1) は、川の中で見つかったバスケットの中に入っていた Mouse の赤ん坊6名ほどである。隣同士の三三五五である：

(1) The sudden light seemed to pain their eyes, and **they** buried their faces in one another's sides. [Baby mice] (111)

4.6 まとめ

構成員2の each other では、人間と Bat が3例、Gregor と Luxa が6例、Firefly 同士が3例、Rat 同士が1例である。うち、身体の一部など、付随的なものが2例である。

構成員 many の each other では、2例とも、2グループの対立である。

所有格の each other's では、2例とも、構成員は2である。

One another は、所有格を含めてすべて many で、「それぞれ」が1例、「三三五五」が2例、構成員2のグループが複数できその中の「それぞれ」が1例である。声

という付随的なものが1例ある。

出現率は、本文343ページで、each otherが^s20.18 (343/17), one anotherが^s75.75 (343/4)で、両方あわせると16.33 (343/21)である。

5. Gregor 05²²

この第5巻では、each otherが15例、所有格のeach other'sが1例で、計16例あり、one anotherは13例、所有格のone another'sが1例で、計14例である。

5.1 Each other

Each otherについては、ほとんどが構成員2である。例(1)は、GregorとAresで、人間とBatである：

- (1) But they had trained for hours and hours in the arena and had been in enough tight spots together to know **they** could count on each other completely. [Gregor & Ares] (58)

人間同士のものが多いが、例(2)は、VikusとSolovetである：

- (2) **They** were married but they didn't always confide in each other. [Vikus & Solovet] (95)

例(3)は、Hazardが、祖母SolovetとHamnetとの関係について述べている：

- (3) “Perhaps it was because **she and my father** hated each other so much,” said Hazard with his usual frankness. [Solovet & Hamnet] S (319)

例(4)は、Gregorと妹のLizzieである。ここのitはthe Morse codeである：

- (4) Lizzie had been fascinated by it, though, and wanted him to learn it as well so that **they** could send each other messages. [Lizzie & Gregor] (148)

GregorとLuxaのものが5例ある。二人は自分達の感情に素直になろうとしている。例(5)は、二人だけでthe museumに行こうとするが、Regaliaの宮殿は避難民でいっぱい、横に並んで歩けないほどである。しかし、つないだ手は離さない：

²² *Gregor and the Cord of Claw* (2007).

(5) They had to go single file for most of it—the place was so packed — but **they** never lost hold of each other. [Luxa & Gregor] (225)

例(6)は、負傷したGregorを気づかうLuxaに冗談めかして：

(6) “One or the other of us always seems to be recuperating.” [Luxa said.]

“Only way **we** get to see each other,” said Gregor. [Luxa & Gregor] S (259)

例(7)は、the Baneとの戦いの後、Aresを失ったGregorをLuxaが見舞っている：

(7) There were probably a million things **they** should be saying to each other, but they just stayed like that for hours, not talking, until his dad woke with a start from a nightmare, and Gregor had to reassure him that everything was going to be okay. [Luxa & Gregor] (369)

例(8)と(9)は、すべてが終わり、GregorがOverlandに家族とともにもどる直前の場面で、別れを惜んでいる：

(8) “Yeah,” said Gregor. But neither of them could eat. **They** just sat with their arms around each other. [Luxa & Gregor] (396)

(9) “**We** shall never see each other again,” said Luxa. [Luxa & Gregor] S (396)

例(10)では、LuxaはRatに対して深い恨みを抱いているが、個々のRatに対しては心を開くようになる。Gregor 02で「戦友」となったRatのTwitchtipもその1名である：

(10) She had had her own connection with Twitchtip. **They** had protected each other in the maze for as long as they could. [Luxa & Twitchtip] (286)

LuxaとRipredのものが3例ある。例(11)、(12)は両方とも、和平交渉の場でLuxaとRipredが反目し始め交渉決裂と思われた時に、Gregorが2名の間に割ってはいるところである。この後、Gregorは、自分がこの戦いに参戦する象徴である“Sandwich’s sword”を真っ二つに折ってしまう：

(11) “We were fighting for the same thing, remember? **You two** owe each other your lives!” [Luxa & Ripred] S (385)

(12) “And now you stand there and ask me to choose between you? To help **you** kill each other?” [Luxa & Ripred] S (385)

例 (13) は、その後、Vikus に「剣」を折ったいきさつを説明している：

- (13) “**Luxa and Ripred** were recruiting me for a new war, this time against each other.
[Luxa & Ripred] S (391)

以上が、構成員が単純に2であるものである。

例 (14) は、曖昧で、(7) の “Gregor had to reassure him that everything was going to be okay.” を受けて Gregor が自分のその発言について思うところある。ここには彼の父親と Luxa と彼の3人がいる。父親だけとならば2、Luxa が入れば3、その輪が広がれば三三五五あるいは「それぞれ」となる：

- (14) “Maybe if **we** just keep telling each other that, one day it will be true,” he thought.
[Gregor & his father, et al.] S (369)

例 (15) は many であるが、2でもある。まず、人間と Rat の2グループがあり、そのグループの構成員が皆関係する。Ripred は “Yes, I do.” と答え、Luxa と Ripred の2名が人間と Rat の「代表」として、人間と Bat のように、きずな bond を結ぶ：

- (15) “A bond between **all humans and gnawers**. A vow to defend each other to the death. I offer it. Do you dare take it?” asked Luxa. [All humans & gnawers] S (388)

5.2 Each other's

例 (1) は、Gregor と Luxa の最後の別れの場面である：

- (1) Then she backed down a few steps and **they** held each other's gaze until Gregor's dad slid the rock in place, parting them forever. [Gregor & Luxa] (398)

5.3 One another

One another は13例あるが、構成員は、2グループを含めて many であるといつて良い。例 (1) は、Gregor の家族5名で、「それぞれ」がそれぞれを必要とする：

- (1) **His parents and grandma and sisters** had to have one another. [His parents, grandma, Lizzie, Boots] (17)

例 (2) は、Gregor 04 の最後で Fireland に残してきた Luxa, Howard, Ripred, Aurora,

Nikeの5名で、やはり、「それぞれ」がそれぞれを必要とする：

(2) **His friends in the Firelands** had one another and an army to lean on. [His friends in the Firelands] (26)

例(3)は、戦争の後処理・講和条約の会場に集った一般の者・さまざまな種族で、交渉に直接当たる Gregor, Ripred, Luxaたちを除くが、隣同士の三三五五が認められる：

(3) Gregor could hear **everyone** murmuring to one another that this was true, that the prophecies were written in stone. [Everyone in the arena] (383)

以下、2グループが5例続くが、対立する2つのグループであるということがはっきりしているのは(4)で、Aresはこの闘い方を“a challenge”と呼んでいる：

(4) It reminded Gregor of those movies set hundreds of years ago, where **two groups of soldiers** would line up across a field from one another and then one side would charge. [Two groups of soldiers] (163)

例(5)は、人間と Bat である。Gregor のもう1人の妹 Lizzie が the Code of Claw の暗号解読者として他の解読者に紹介されるところで、皆 shy であるといわれて Lizzie はほっとする。解読者はおのおのの部屋にいますが、Bat の Daedalus がすぐに出て来る。Lizzie が人間だからである。一般的な表現であるが、Daedalus と Lizzie の2名の「代表」とも取れる：

(5) Daedalus fluttered out almost at once, but **bats and humans** were most comfortable with one another. [Bats & humans] (144)

例(6)は、Howard が Gregor に言う言葉だが、人間対 Rat の現状の戦争状態を指して言っている：

(6) “Slaughtering one another. Walling ourselves in with our dead. So pointless. All of it.” [Humans & rats] S (284)

例(7)は、Ares が Gregor に言う言葉で、人間と Bat 対 Rat を指す。His words の his は、Sandwich the prophet のことであり、この人物が Underworld に到達し、そこに Regalia を築き、多くの「予言」を残す。Gregor がこの世界で必要とされるのは、この Sandwich の予言のためと言われている：

(7) “His words are full of doom and only terrorize **us** into killing one another,” said Ares.

[Bats and humans & rats] S (340)

例 (8) は、Gregor が Ares に言う言葉であるが、人間と Bat 対 Rat を指す。この him も Sandwich the prophet のことで、Gregor は既に「予言」を信じてはいない。Luxa と Ripred も「予言」を信じていないことが分かっているが、「一般民衆」にはそのことは伏せている。このシリーズでは、戦争の愚かさばかりでなく、「予言」に振り回される者たちの愚かさも表現している：

(8) “Using him as an excuse to kill one another.” [Bats and humans & rats] S (341)

例 (9) は、本来 Rat の軍勢対連合軍の間の戦い (2グループ) であるべきはずのところ、乱戦になり、敵味方判別のつかない殺戮となってしまう「それぞれ」である：

(9) **They** were killing, killing, killing one another and then at the end they would have

diminished one another’s ranks but . . . what would have changed? [Rats, humans, bats, mice, cockroaches, spiders] (344)

以下の2例は、7グループである。例 (10) は、Luxa と Ripred がきずなを結んだ後、代表者で話し合うことになる。関係する7種族から各4名ずつ、28名が選ばれるけれど、過去に捕らわれて、やはり收拾がつかない。ここに集まった種族の数の7グループが考えられるが、過去における「それぞれ」の関係は複雑で、友好関係・対立関係は変化があったと思われる。ここには Ant や Snake は参加していない：

(10) Other voices chimed in and soon the conversation had moved away from the future

and back to the past evils **they** had done to one another. [Humans, rats, bats, mice, cockroaches, spiders, moles] (393)

例 (11) は、Ripred が他の代表者に語るもので、(10) と同様、「それぞれ」の7グループが考えられる。この後、Lizzie の提案で、各種族から1名ずつ、しかも他の種族のものが代表を選ぶことになる：

(11) “**We** have all inflicted unspeakable evils upon one another!” [Humans, rats, bats,

mice, cockroaches, spiders, moles] S (393)

例 (12), (13) は、Gregor が地上世界に戻ってきて Overland つまり現実の世界に

ついて考えるところである。現実世界では多くのグループが入れ代わり立ち代わり現れては対立している。ここには現実の戦争に対する作者の考えも表明されている：

(12) Seeing the news had made him think. He was safe for the moment, here in the playground, but **people all over the world** were suffering, starving, fleeing, killing one another as they waged their wars. [People all over the world] (411)

(13) How much energy **they** put into harming one another. [People all over the world] (411)

例(9), (10), (11), (12), (13)では、グループ同士で三三五五となったり、「それぞれ」となる場合もある。

5.4 One another's

例(1)は、5.3(9)と同じで、本来Ratの軍勢対連合軍の間の戦い(2グループ)であるべきはずのところ、乱戦になり、敵味方判別のつかない殺戮となってしまっている「それぞれ」である：

(1) They were killing, killing, killing one another and then at the end **they** would have diminished one another's ranks but . . . what would have changed? [Humans, rats, bats, mice, cockroaches, spiders] (344)

5.5 まとめ

所有格を含む16例のeach otherのうち人間とBatが1例、人間同士が10例、人間とRatが5例である。人間同士のうち6例がGregorとLuxaである。人間とRatのうち3例がLuxaとRipredである。構成員2のものが14例、最少2から三三五五「それぞれ」でmanyに増えるものが1例、Manyではあるが「代表」もある2グループが1例である。

所有格を含めたone anotherは他の巻に比べて14例と出現数が多く、すべてmanyである。うち、「それぞれ」が3例、2グループが5例、三三五五が1例あり、また、5例において、多くのグループ同士での三三五五と「それぞれ」の関係が

認められる。

出現率は、本文412ページで、each otherが25.75 (412/16)、one anotherが29.43 (412/14)で、両方あわせると13.73 (412/30)である。

6. Conclusion

全5巻で、所有格を含めて、相互代名詞each otherが計76例、one anotherが計35例あり、両者の合計は111例である。約2対1の割合で、each otherの方が多く用いられている。出現率は、総ページ数1,731で、each otherが22.78 (1,731/76)、one anotherが49.46 (1,731/35)、両者計15.59 (1,731/111)である。each otherの出現数は比較的安定しているが、one anotherについては、第1巻から第4巻までは1桁で安定しているが、第5巻で14例と増えている。

所有格は、全8例あり、すべて限定詞の用法であり、所有代名詞の用法はない。

構成員数については、each otherの場合、単純に2の場合が57例、残りが2ないしmanyとなる。本稿では、「代表」という概念が導入された。「代表」とは、2つのグループがあり、片方のグループの特定の構成員ともう一方のグループの特定の構成員とが関係するものであるが、ただし、グループ対グループでも各グループの任意の構成員の対でもない。例えば、1.2 (1)で、HumanとBatの2グループが存在するが、HumanのVikesとBatのEuripedesの関係があり、もう一方でHumanのLuxaとBatのAuroraの関係がある。VikesとAurora、LuxaとEuripedesの関係はない。また、この例のように、一組だけではなく複数の組み合わせもある。

One anotherの構成員数はすべてmanyである。「それぞれ」は、三三五五に似ているところがあり、実際両方のケースが考えられるものが多いが、3.3 (2)のように、各構成員が三三五五のグループを形成せずに他の構成員と関係するものである。また、1.4 (5)のように、多数のグループが単位となってこの関係を構成するものもある。この関係は、each otherでも3.2 (8)で1例認められる。

構成員は、ほとんどが知的生命体であり、4例が身体の一部（目、頭）人間の声、植物（蔦）である。

連続は1例出現する。

Bibliography

The Underland Chronicles:

- Collins, Suzanne. 2003. *Gregor the Overlander*. New York: Scholastic, 2013.
Collins, Suzanne. 2004. *Gregor and the Prophecy of Bane*. New York: Scholastic.
Collins, Suzanne. 2005. *The Curse of the Warmbloods*. New York: Scholastic.
Collins, Suzanne. 2006. *Gregor and the Marks of Secret*. New York: Scholastic.
Collins, Suzanne. 2007. *Gregor and the Cord of Claw*. New York: Scholastic.

- 松島 龍太郎. 2013a. 「each other と one another の語法：お互いに交換可能か」. 『英語英文学研究』第72号（第37巻第2号）：創価大学英文学会.
松島 龍太郎. 2013b. 「each other と one another の語法 (2): *Harry Potter* の場合」. 『英語英文学研究』第73号（第38巻第1号）：創価大学英文学会.
松島 龍太郎. 2014a. 「each other と one another の語法 (3): *Hobbit* の場合」. 『英語英文学研究』第74号（第38巻第2号）：創価大学英文学会.
松島 龍太郎. 2014b. 「each other と one another の語法 (4): *The Hunger Games* の場合」. 『英語英文学研究』第75号（第39巻第1号）：創価大学英文学会.
松島 龍太郎. 2015a. 「each other と one another の語法 (5): *I Am Number Four* の場合」. 『英語英文学研究』第76号（第39巻第2号）：創価大学英文学会.
松島 龍太郎. 2015b. 「each other と one another の語法 (6): *Howl's Moving Castle* の場合」. 『英語英文学研究』第77号（第40巻第1号）：創価大学英文学会.